

# まきほんよう 榎の本葉

上牧第三小学校 学校だより

2023(令和5)年  
4月18日(火) 4月号(No.12)  
発行責任者 大河内 渡



## 始業式・入学式を終えて、新年度が始まりました!

4月6日(木)に、2年生から6年生までが体育館にて一堂に会し、令和5年度の始業式を行いました。みんな、新しい学級、新しい担任の先生に、これから始まる1年間への期待に胸を膨らませている様子でした。今年は、WBC日本チーム監督栗山英樹さんの「できるかできないかではなく、やるか・やらないかです。」というインタビューを引用して、「挑戦しよう」という話をしました。子どもたちには、学校で何度も挑戦しながら、積み重ねた経験を糧に成長して欲しいと思っています。



4月7日(金)には、第27回入学式を行いました。あいにくのお天気でしたが、氏名点呼で元気よく大きな返事をする姿に、壇上での私は終始笑顔だったと思います。そして、6年生だけではなく、4年ぶりに在校生と共に新入生を迎えた入学式となりました。6年生は、式の前に新入生を教室へ連れて行ってくださるのですが、その姿はとても微笑ましかったです。



今年度は、昨年度より5名増えて、全校児童314名でのスタートとなりました。コロナ禍後の学校のあり方を模索しながらの1年となりますが、教職員一同、子どもたちのために精一杯頑張ります。子どもたちの健やかな成長を願う気持ちは同じですので、学校と保護者の皆さまと地域の方々で「三方よし」となりますよう、今後ともよろしくお願いいたします。



## 今年度もよろしくお願ひいたします

昨年度に引き続き今年度も校長を務めさせていただく、大河内 渡(おおこうち わたる)です。2年生から6年生の保護者の皆さまにはあらためて、1年生の保護者の皆さまには今年度より、どうぞよろしくお願ひいたします。

昨年度は、「温故知新」をめあてに、縦割り活動など、これまで上牧第三小学校が大事にしてきたことを引き継ぎながら、学級での授業とリモートでの授業を合わせたハイブリッド授業や、分散による授業参観などコロナ禍においてもできる範囲での学習や行事などを実施しました。

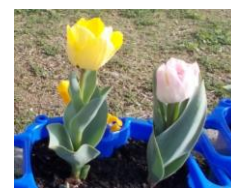
5月8日(月)から新型コロナウイルス感染症が、感染症法上での分類で2類から5類になることを受け、コロナ禍以後の学校のあり方を模索していくこととなり、より「温故知新」が大事になると思っています。

「温故知新」も大事にしながらではありますが、今年度は「用和為貴(ようわいき)」を自身のめあてに、頑張っていこうと思っています。「用和為貴」とは、古代中国が発祥ですが、聖徳太子が制定した「十七条の憲法」の第一条「和を以(用)て貴しと為す」が有名です。つまり、人と人が仲良く協力することが大切であるという意味です。

ハーバード大学の75年にわたる追跡調査によると、人の幸福と健康を高めるのは、何よりも「いい人間関係」であるそうです。学校は、社会へ出てからもずっと続く人との関わりを学んだり経験したりする場でもあるので、子どもたちが仲良く協力できるように支援していきたいと思っています。



用和為貴



「榎の本葉」というタイトルは、上牧町の木であり、本校の校章にもある「『榎』の子ども(本葉)」という意味です。榎という木は、「幹はまっすぐに伸び、葉は密生していて上を向き、しかも決して下を向かない」ので、三小の子どもたちが、そんな木のように前に向かってまっすぐに成長してほしいという願ひから名付けています。